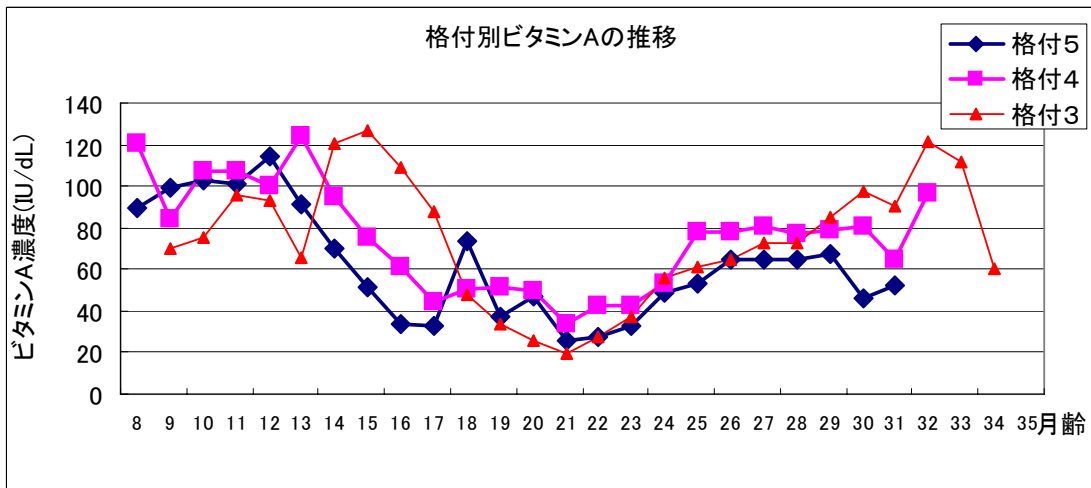


肥育牛のビタミンA濃度を測定して指導

－畜産技術センターを中心に高品質牛肉の増産をめざす－

肥育牛は、肥育前期後半から中期にかけて血中のビタミンA濃度を制限すると、脂肪細胞の分化が進んでサシ(霜降り)が入り、高品質な牛肉になります。

当センターでは、家畜保健衛生所と協力して、府内3戸の大型肥育農家の牛から血液を採取してビタミンA濃度等を測定し、肥育技術について指導をしています。



13か月齢から数値が低下して24か月齢頃まで維持した牛は、格付けが高い